



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第343号



我孫子市マスケットキャラクター
「手鞠沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「職業調べ」

布佐中学校3年生の2クラスで、Abi-キャリアの一環として職業調べの授業が展開されました。各自がタブレット端末等を駆使し、3時間にわたって調査した内容を発表します。

発表はパワーポイントを使い1人5分で行います。聴いている生徒は、ワークシートに発表の概要をメモし、発表終了後に質問をしたり、付箋に感想等を記入したりして発表者に渡します。

発表が終わると、興味をもった内容やよくわからなかったことについて発表者を中心にグループ内で話し合いが始まります。「初めて知った」「へー、そうなんだ」といった呟きがたくさん聞こえてきました。付箋に書かれている感想もとても温かく、「ピッタリだよ」「頑張れ」といった励ましの言葉が付箋いっぱい書かれ、発表者の表情も嬉しそうでした。とても和やかな雰囲気でお互いが学び合い、様々な職業について理解を深めていると思いました。

この後は、職業人講話も実施すると聞いています。ぜひ、キャリア学習におけるカリキュラムを学校として根付かせるとともに、布佐中学校ならではの地域と連携した「就職体験学習」が再開できたら…と願っています。



Abi-キャリア つながる 広がる 支え合う「視覚障害者ガイドヘルプをしよう」



並木小学校の4年生が「視覚障害者ガイドヘルプをしよう」という課題を設定した出前授業を実施しました。二人一組で視覚障害者とガイドヘルパーの役を交代しながら歩く体験をしました。

始めに、視覚障害者にも色々な見え方があることやそれぞれの困り感、ガイドヘルパーの役割と注意事項などについて説明を受けました。説明終了後、目隠しをして片手に白杖を持ち、もう片方の手をガイドヘルパーの肩に置き、数メートルを歩きました。児童からは「見えない」「怖い」という声が聞こえてきました。続いて足場が不安定なマットの上、2つの机に挟まれた狭い所、直角に曲がっている所、障害物を置いて段差を設けた所を通過していきます。ガイドヘルパー役の児童は、次第に「道が狭くなるよ」「9時の方向に曲がるよ」など声を掛けながら誘導する様子が見られました。

体験が終わると「思っていたよりも怖かった」「障害をもっている人の大変さがわかった」「サポーターも大変」などの意見が出されました。体験を通して「視覚障害者の困難」「ガイドヘルパーの責任と役割の大切さ」「大人に支援を求めることの必要性」について多くを学べた1時間であったと思います。